

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍で、書面開催を開催している。管理者が、地域の代表や知見者に運営状況の報告書を持参し、報告書に対する意見やコメントを後日送付して頂き、質問があれば後日書面にて回答して双方の会議となっている。ご家族は、全員ではなく代表者のみ参加となっている。運営状況をより理解して頂く必要がある。	運営推進会議の議事録を全家族に送付し運営状況を報告していく、また、全家族に対しご意見を頂く事とする。	1) 全家族に運営推進会議の議事録を送付する 2) 全家族に対して、ご意見がある際頂く 3) ご意見について、回答を行っていく	2ヶ月
2	33	看取りの介護について、終末期が近いと主治医が判断した場合に、ご家族に説明し看取り介護についての意思確認を行い、訪問診療や訪問看護と連携して看取りを行っている。看取り介護実施後、振り返りの機会を設ける事が出来ていなかった。	看取りについての外部研修参加し外部研修で学んだ事をフィードバックする。全職員が同じ内容を学ぶ機会を設ける。また、看取り介護実施後、振り返りの機会を設け職員の心のケアも行っていく。	1) 看取り介護の外部研修参加 2) 外部研修のフィードバック 3) 看取り介護実施前後のミーティングと振り返り	3ヶ月
3	35	避難訓練は、年2回必ず実施している。消防署職員の立ち合いは、定期的に行い避難経路の確認や避難方法を助言してもらっている。避難地域の自治会とはなかなか連携をとれていない。	今後、避難地域の自治会と連絡をとり地域の課題を収集、明生苑としてどのように地域に貢献出来るか考えていく。また、様々な災害を想定した避難訓練を行っていく	1) 運営推進会議を通して、地域が抱える災害についての課題を収集する 2) 明生苑として、地域にどのように貢献できるのか検討していく 3) 様々な災害対策を想定して避難訓練を行っていく	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月